

1. 件名：令和3年2月13日福島県沖地震におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針に係る面談
2. 日時：令和3年11月9日（火）14時00分～15時05分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、新井安全審査官、高木係長、高木技術参与  
地震・津波審査部門

江寄企画調査官

千明主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当10名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社より、令和3年10月11日実施の特定原子力施設監視・評価検討会にて資料配布した「福島県沖地震（2021/2/13）におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針」に加えて、代表的なエリアのボーリング調査及び標準貫入試験の結果の比較等について、説明があった。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。
  - 地盤の地震応答の増幅特性について、Dエリア、H4北エリア、K4エリア、解放基盤面付近の各地震観測記録のフーリエスペクトル及び加速度応答スペクトルのデータを比較・分析したうえで、各エリアで差異がないことを説明すること。
  - 追加調査及び解析検討の結果を踏まえて、連結管破断の発生を前提とした対策をとることとした判断に至るまでのプロセスについて、整理して説明すること。
  - 地震計設置箇所について、設置箇所の詳細と当該箇所に設置した理由を説明すること。

#### 6. その他

資料：

- 福島県沖地震（2021/2/13）におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針
- 福島県沖地震（2月13日）に対する耐震評価について

以上